

令和8年度 多面的機能支払交付金

事務研修会

－ 作業時の安全管理 －

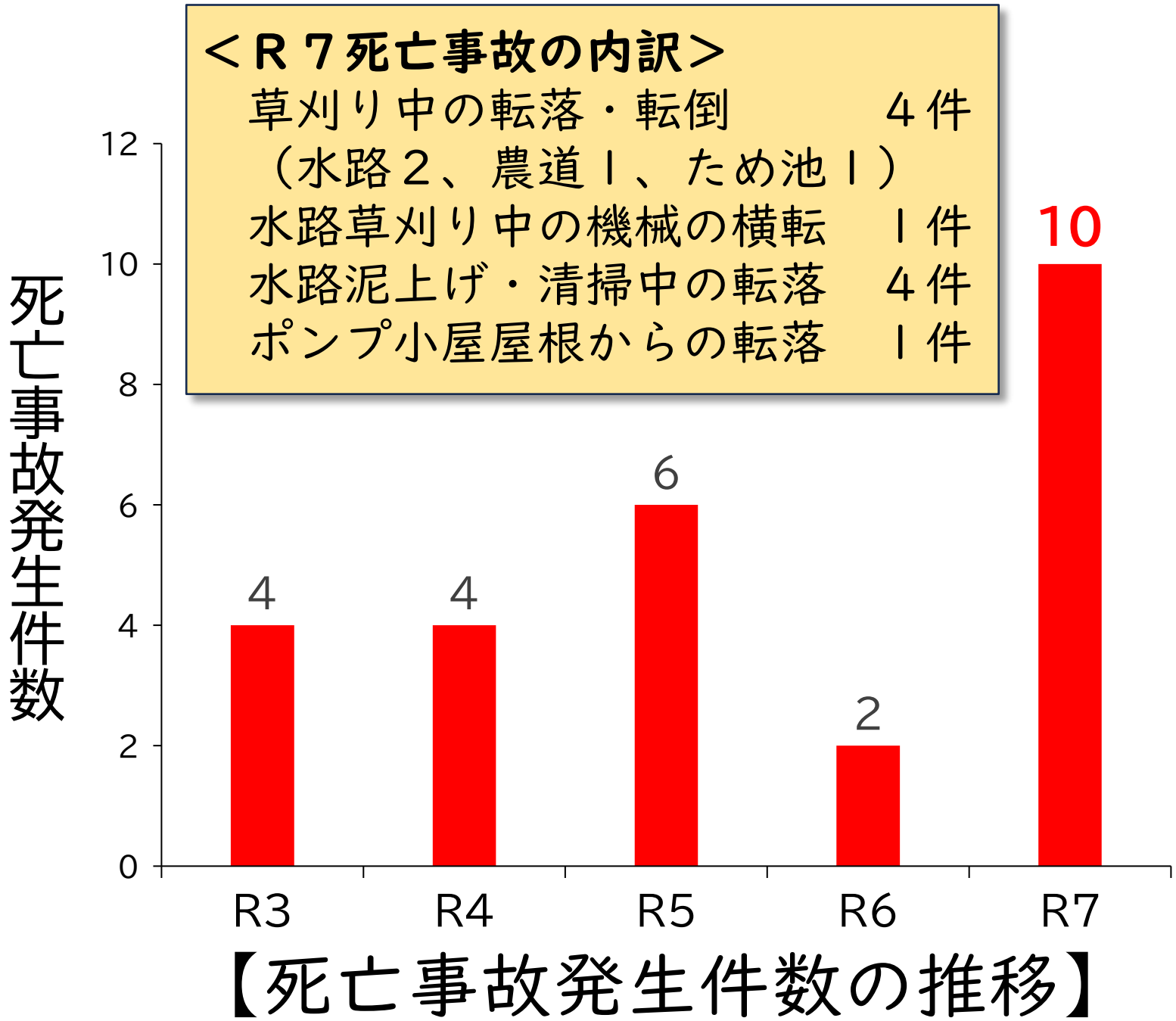
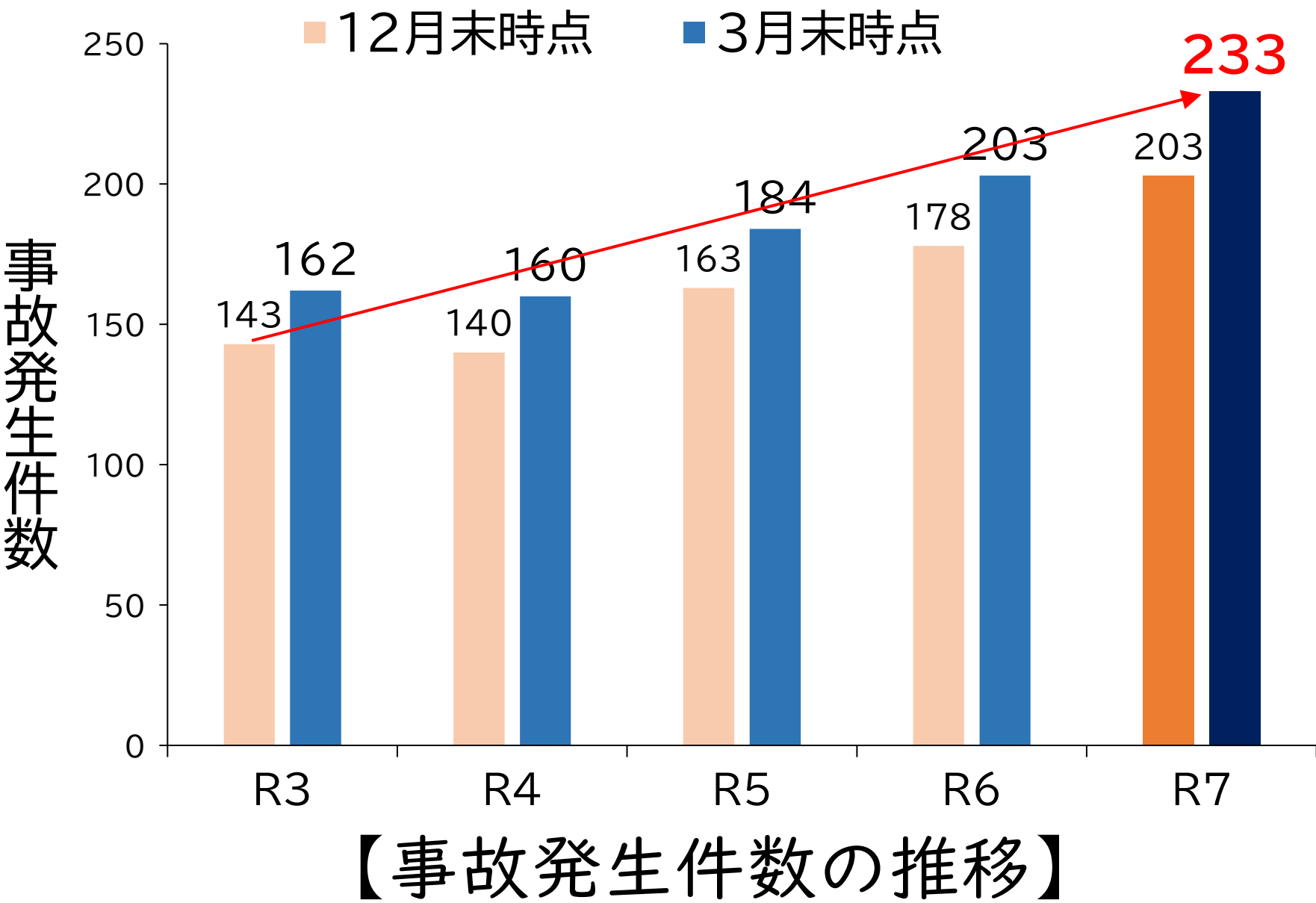


長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会

多面的機能支払交付金の共同活動中に発生した事故

(1) 事故発生件数の推移

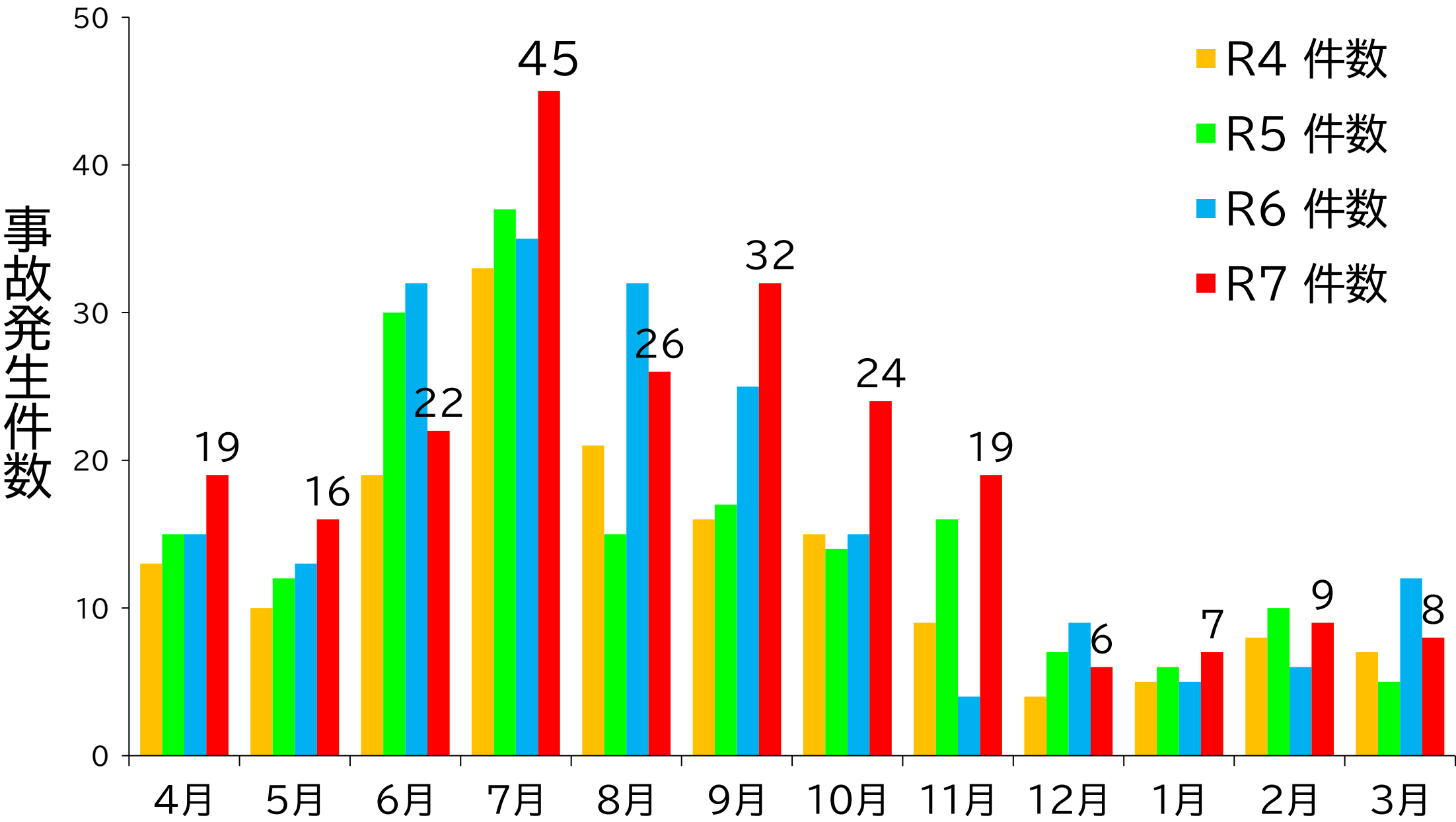
令和7年度に発生した事故件数は233件であり、年々増加傾向
死亡事故は、過去最多の10件発生（活動に起因するものかは不明）



(2) 月別の事故発生状況

例年と同じく7月の事故が最も多く、全体の約2割
例年と異なり、9月、10月、11月においても事故が多く発生

	R4	R5	R6	R7
発生月	件数	件数	件数	件数
4月	13	15	15	18
5月	10	12	13	15
6月	19	30	32	21
7月	33	37	35	45
8月	21	15	32	25
9月	16	17	25	32
10月	15	14	15	24
11月	9	16	4	18
12月	4	7	9	5
1月	5	6	5	7
2月	8	10	6	9
3月	7	5	12	8
計	160	184	203	233



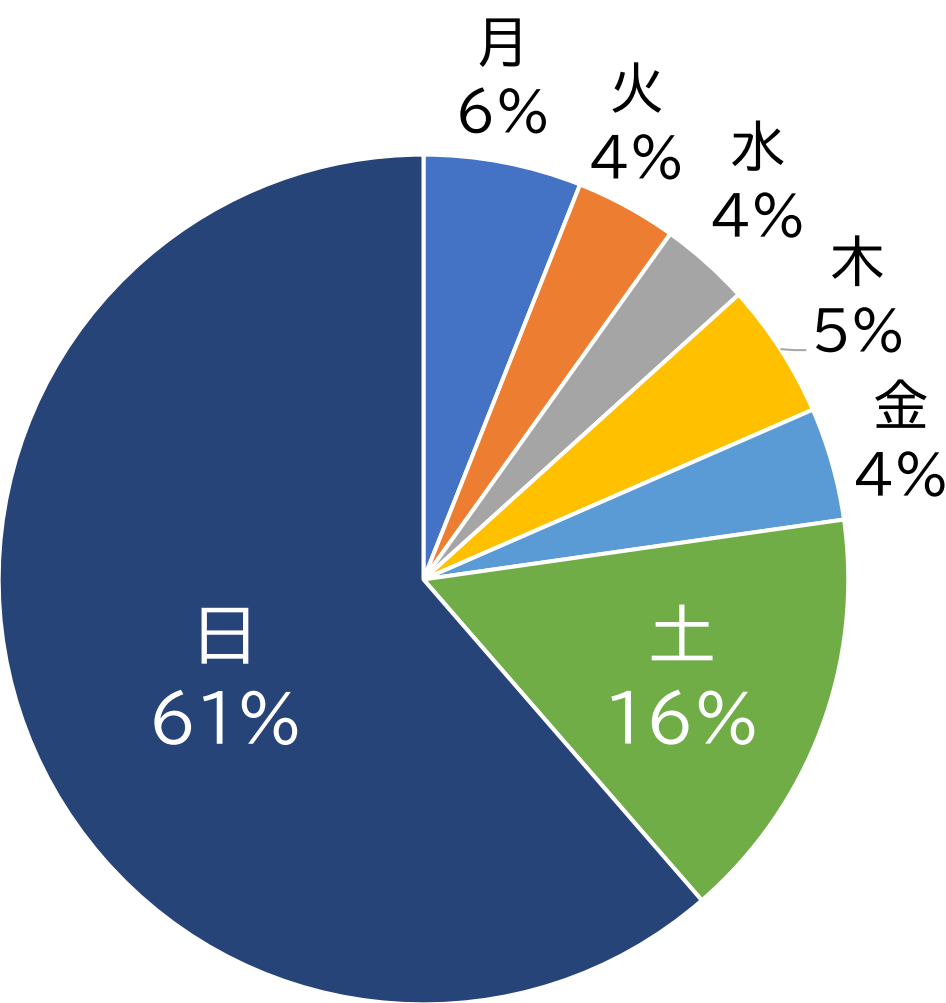
【月別発生件数】

(3) 曜日別・時刻別の事故発生状況

事故の約8割が土・日曜日に発生
事故の約8割が午前中に発生

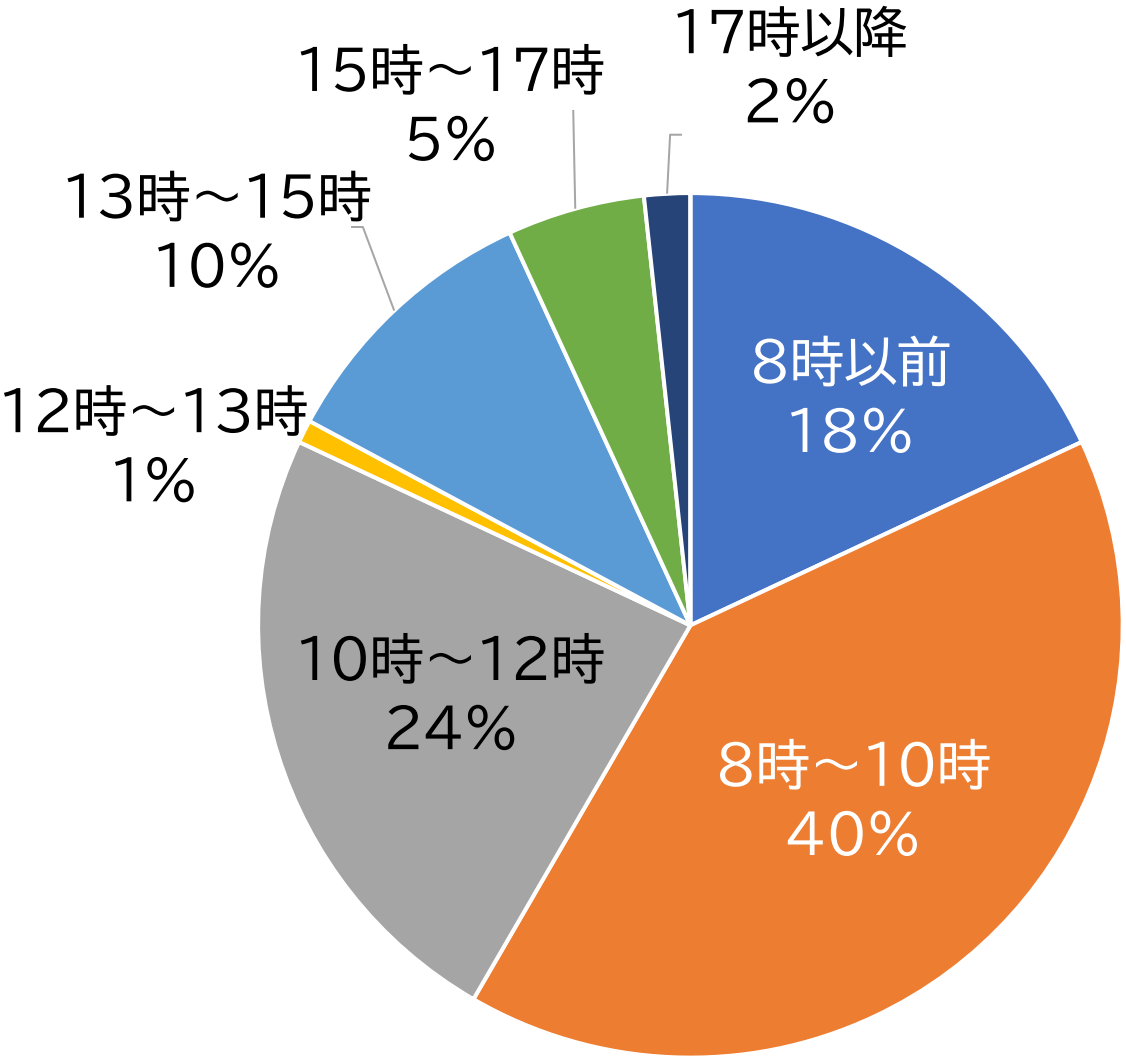
注意喚起は、
土日に入る前が効果的

発生曜日	件数
月	14
火	9
水	8
木	12
金	10
土	37
日	143
計	233



【曜日別発生件数】

発生時刻	件数
8時以前	42
8時～10時	94
10時～12時	55
12時～13時	2
13時～15時	24
15時～17時	12
17時以降	4
計	233



【時刻別発生件数】

(4) 被災者年齢別の事故発生状況・保険の加入状況

被災者の7割が、60歳以上の高齢者

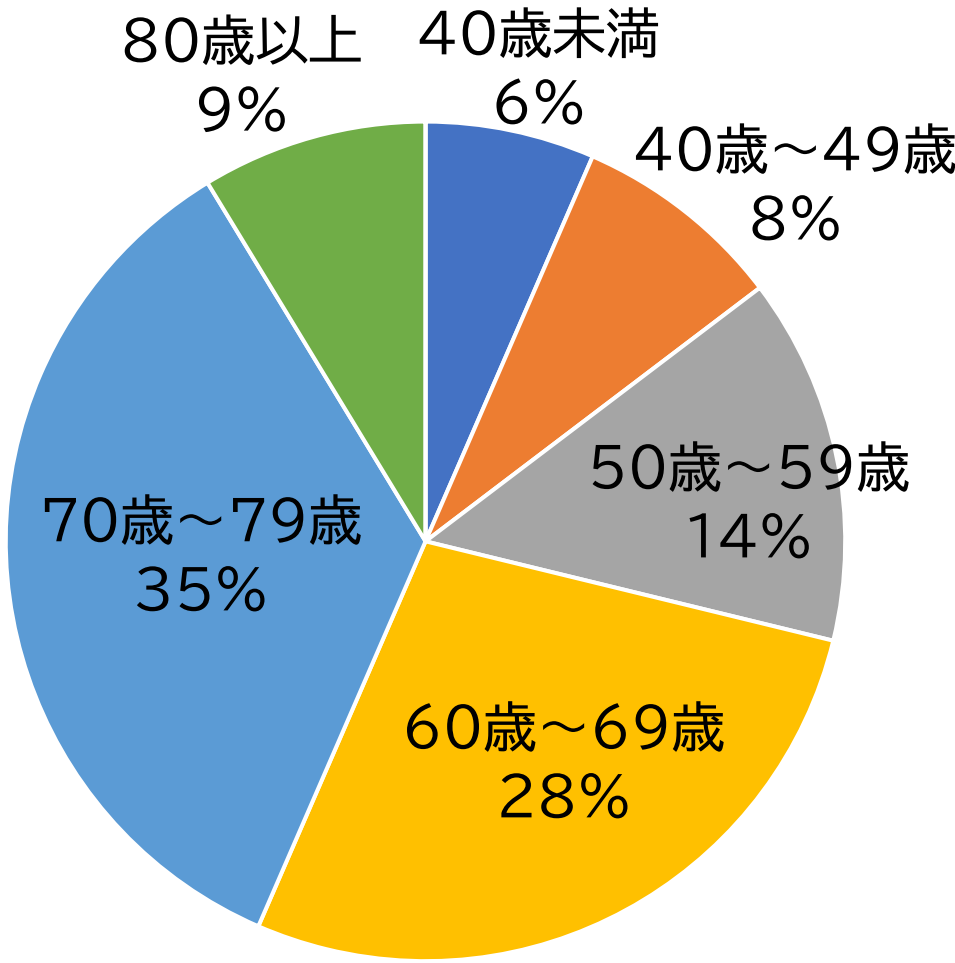
⇒ 参加者の年齢や体力を考慮して、無理のない作業計画を！

保険未加入であった事故が7件

⇒ 安心して共同活動に取り組めるよう傷害保険等に加入！

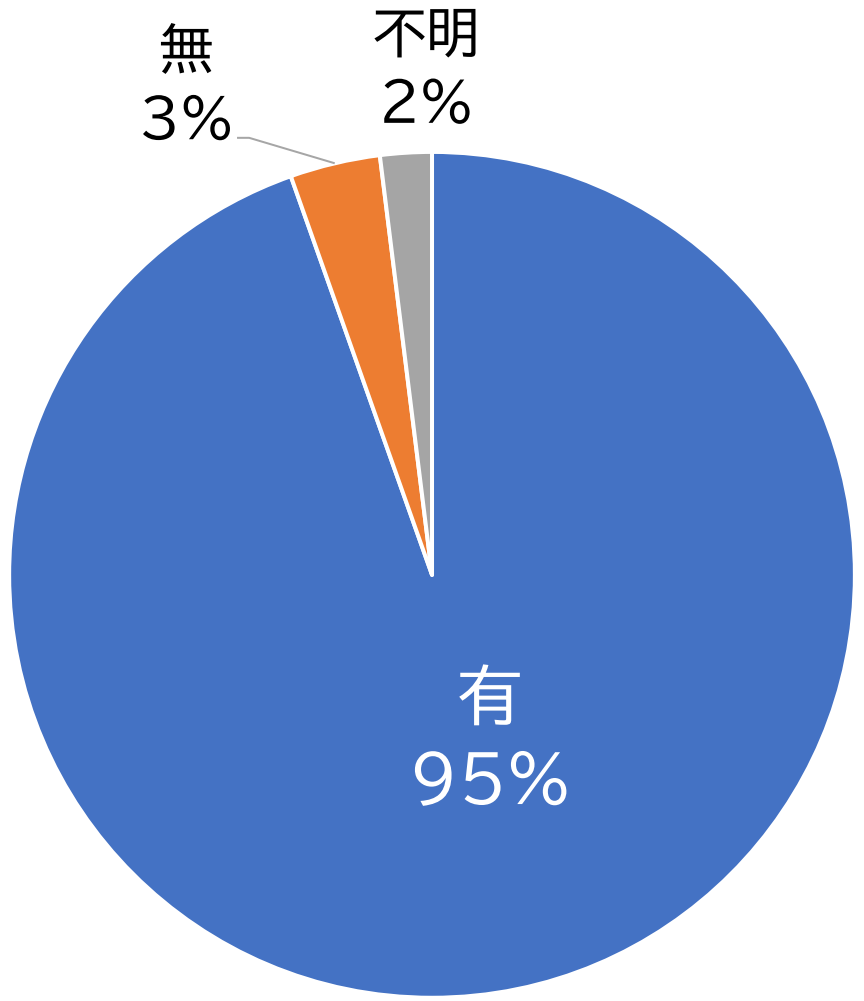
被災者年齢	件数
40歳未満	15
40歳～49歳	17
50歳～59歳	27
60歳～69歳	58
70歳～79歳	71
80歳以上	21
計	209

車両事故・物損事故等を除く。



【年齢別発生件数】

保険加入	件数
有	222
無	7
不明	4
計	233

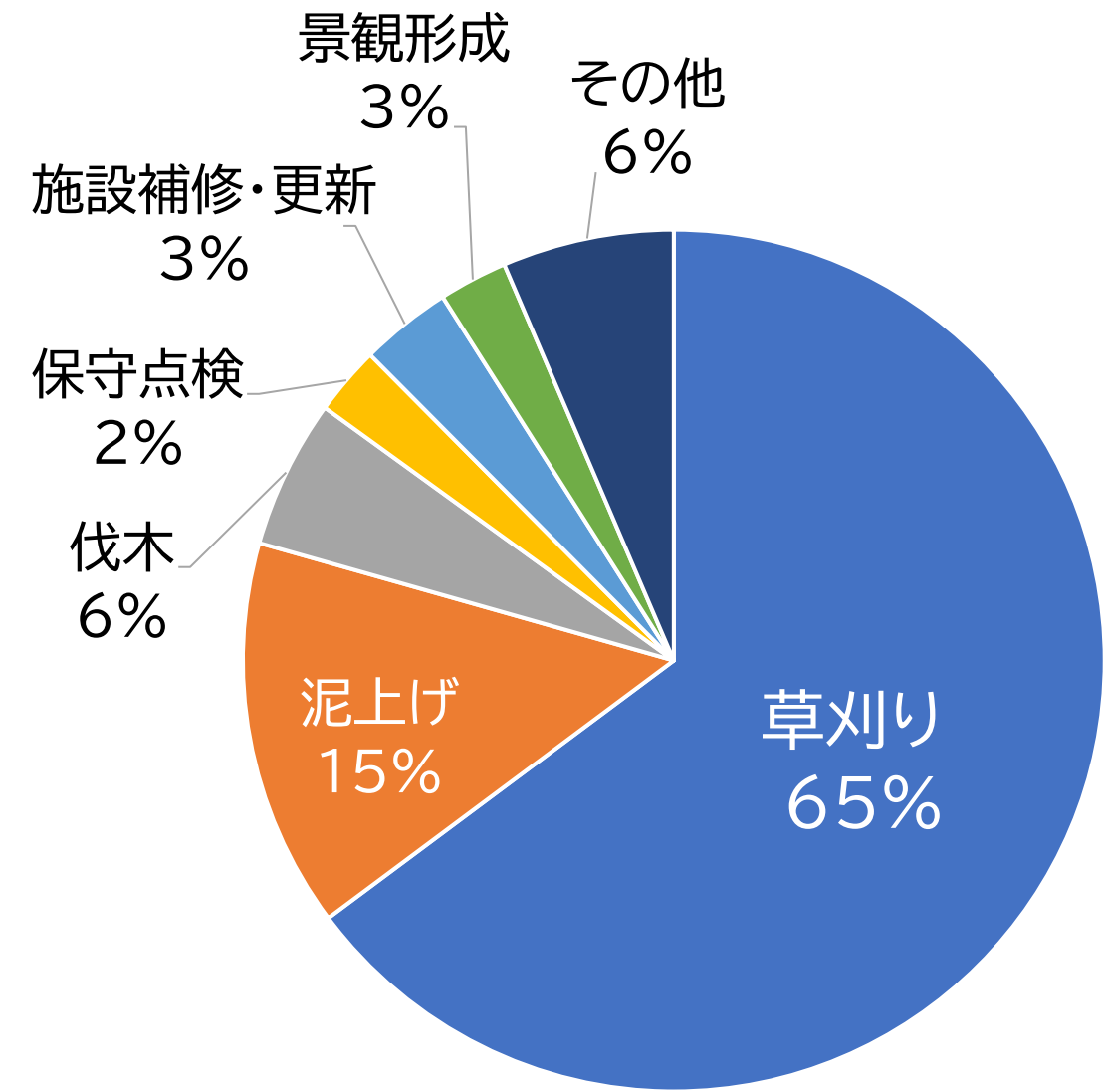


【保険加入の割合】

(5) 活動項目別、対象施設別の事故発生状況

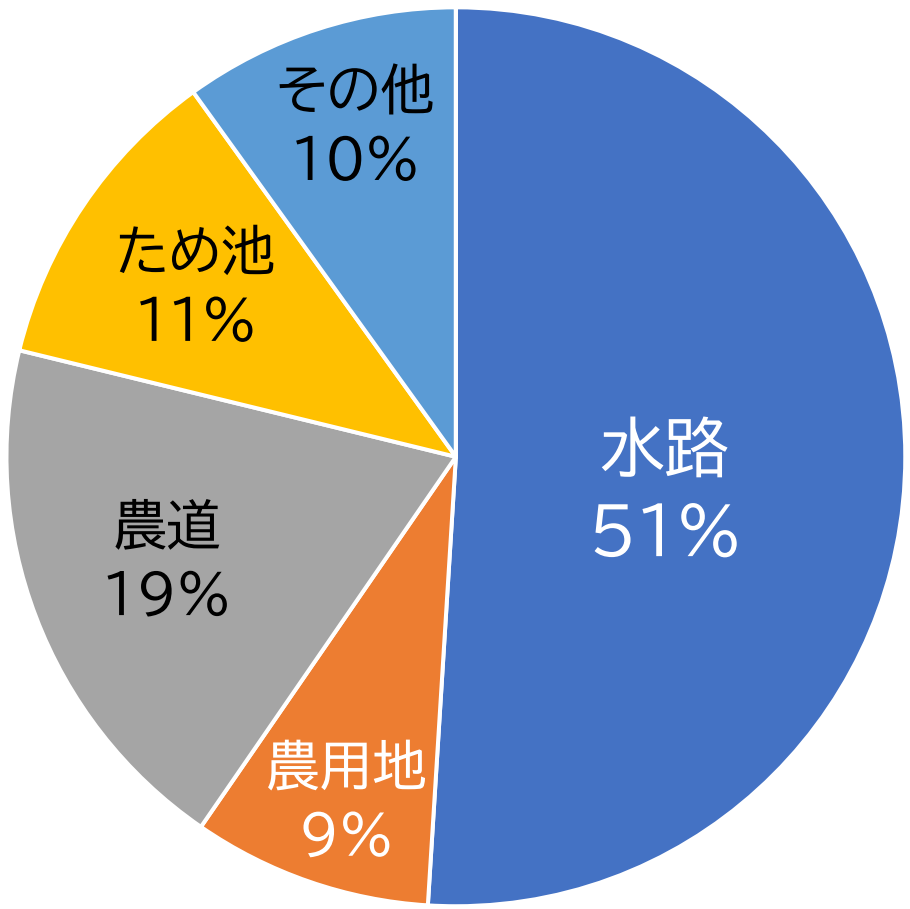
活動項目別では、草刈り中に最も多く発生（全体の約7割）
草刈り中の事故では、水路での発生が最も多く、全体の5割

活動項目	件数
草刈り	151
伐木	13
泥上げ	34
景観形成	6
保守点検	7
施設補修・更新	8
その他	15
計	233



【活動項目別発生件数】

対象施設 (草刈り)	件数
水路	77
農用地	13
農道	29
ため池	17
その他	15
計	151

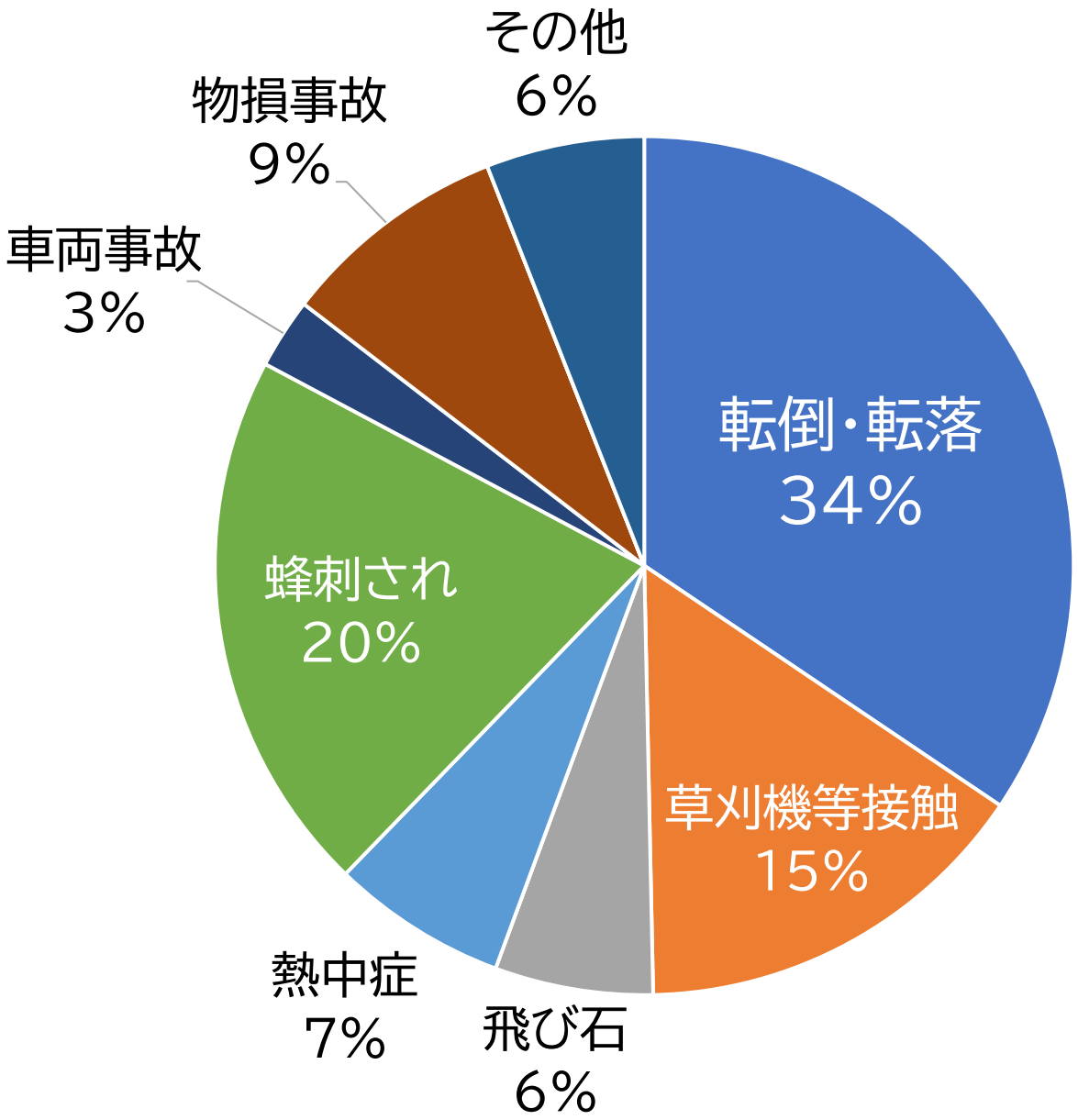


【対象施設別発生件数】

(6) 草刈り時における事故原因

草刈り中の事故原因は、「転倒・転落」や「草刈機等接触」が約半数
「蜂刺され」や「飛び石」（大半は物損事故）による事故も多い

草刈り時の 事故原因	件数
転倒・転落	52
草刈機等接触	23
蜂刺され	31
飛び石	9
熱中症	10
車両事故	4
物損事故	13
その他	9
計	151



【事故原因別発生件数】
(草刈り時)

- 「草刈機等接触」による事故が多発しているため、作業員同士の間隔を確保してください。
- 水路法面など足場が不安定な場所での「転倒・転落」による事故が多いため、ヘルメットの着用やスパイク付きの長靴を履くなどしてください。



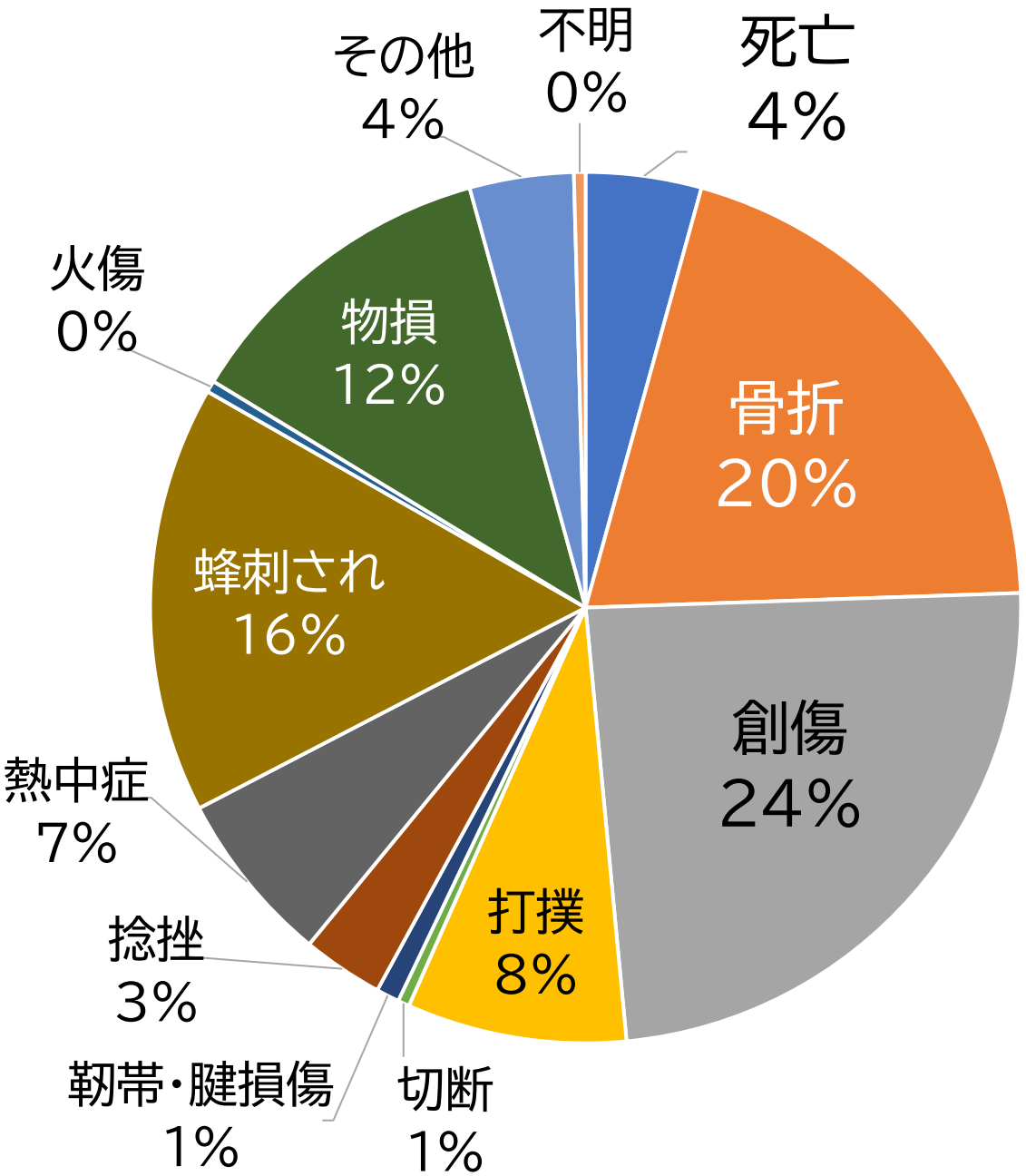
(7) 事故による被災状況

活動中の死亡事故が10件発生（過去最多）

「転倒・転落」や「草刈機等接触」による「骨折」や「創傷」が多い

⇒ 共同活動前には安全確認を行い、事故の発生を未然に防止！

被災状況	件数
死亡	10
骨折	47
創傷	56
打撲	19
靱帯・腱損傷	2
捻挫	7
熱中症	15
蜂刺され	37
物損	28
その他	11
不明	1
計	233



【被災状況別件数】

- 昨年度に引き続き、熱中症や蜂刺されによる被災が多発しています。
- 高温下での作業では、こまめに水分補給や休憩をとってください。



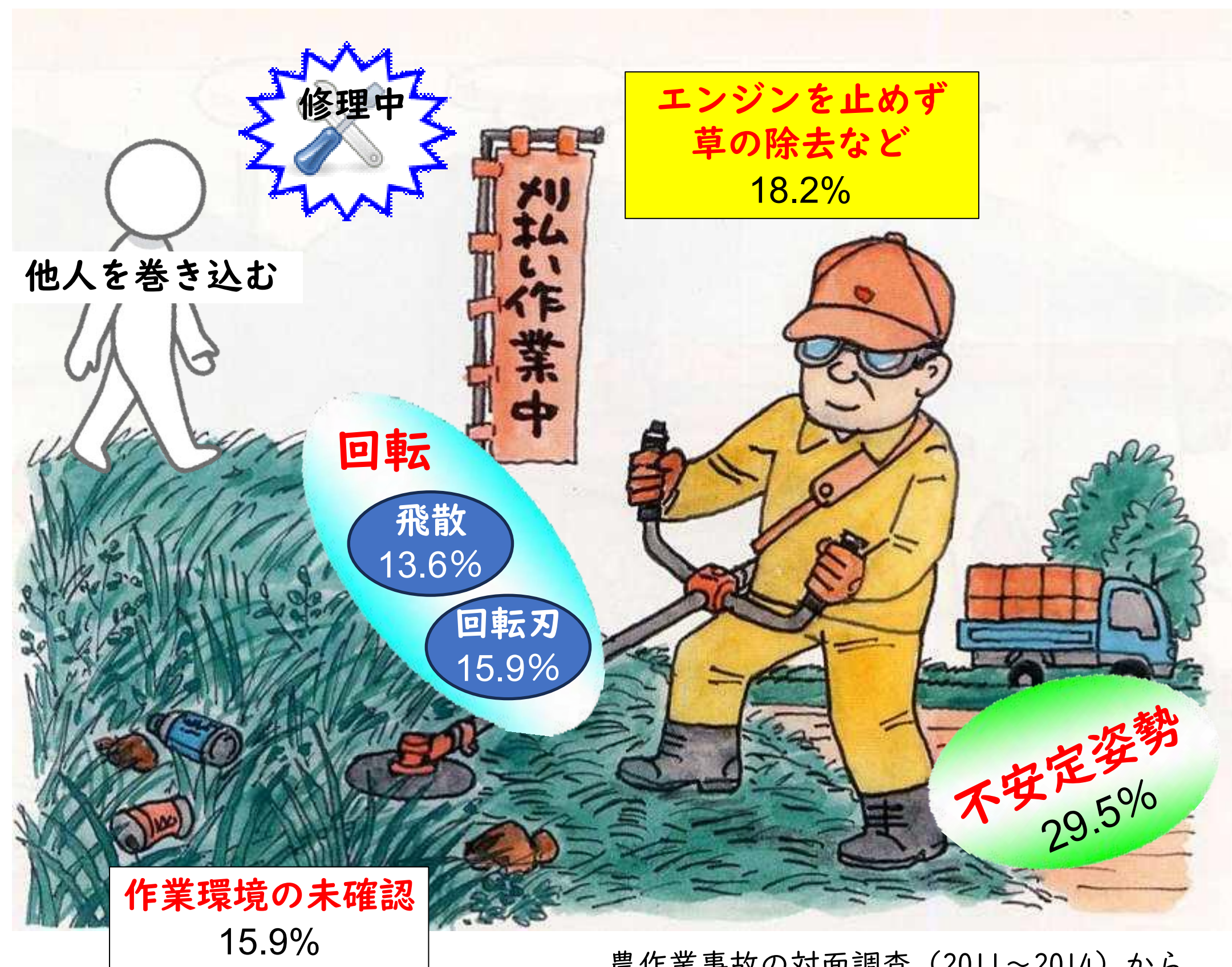
こまめな水分補給と休憩

刈払機による事故事例

刈払機による主な事故原因は、次のとおり。

- ①**作業姿勢が不安定**（法面・傾斜面で滑る、転ぶなど）
- ②**刃の回転による**（回転刃のキックバック、小石・チップの飛散など）
- ③**エンジンを止めない**（エンジンを止めずに、刃に巻きついた草を取ろうとした事故など）
- ④**作業環境の未確認**（草むらに埋もれていたコンクリート構造物や木株、石などとの接触）

このほか、**他人を巻き込んだ事故**や**修理中**の事故があります。

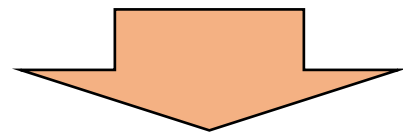


農作業事故の対面調査（2011～2014）から

【事例①】法面から水路底に転落（作業姿勢不安定による事故）

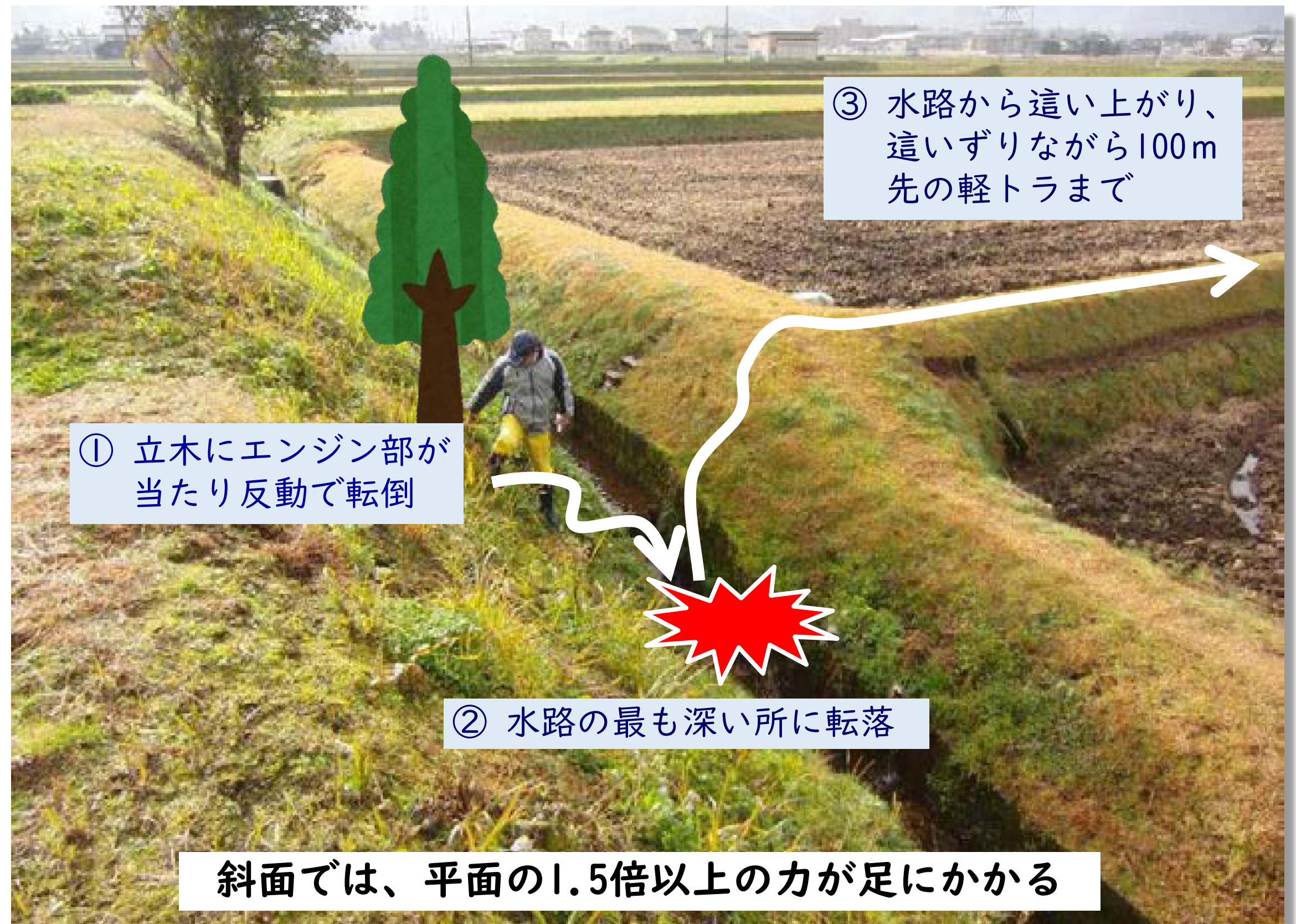
肩掛式の刈払機で急傾斜地の草刈りを行っていた。

立木があるのは承知していたが、滑らないよう足元ばかり気にしていたため、刈払機のエンジン部分が立木にぶつかり、その反動で水路に転落し、足を骨折した。



不要な立木を伐採。

また、斜面での不安定姿勢を解消するため、斜面に丸太で足場を設置。

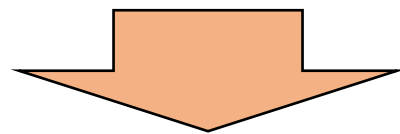


【事例②】土手の法面で刃がキックバック（刃の回転による事故）

法面下から上を見て、不自然な姿勢で草刈り中、刃が法面にぶつかり、その反動で足のすねに刃が当たった。

刈払機は、回転刃の9時から12時の位置で使用する。

しかし、草刈りの場所に何か構造物があると、その構造物に回転刃がぶつかり、その反動で刃がキックバックすることもある。



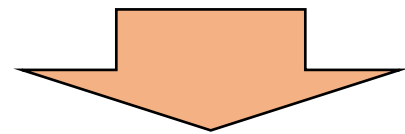
身体の防護を確実にすることと、無理のない姿勢で作業すること。



【事例③】チップの破片が目飛び込む（刃の回転による事故）

夕方、少しの時間と思い、いつもは必ず身につけているフェイスガードをつけずに草刈りを開始したところ、何か
がはじいて目に飛び込んだ。

眼科で診察したところ、目の中に入っていたのはチップソーのチップ。



刈払機の飛散防止カバーを外さないこと。

草刈りをしている人から離れないと、他の人にも事故のおそれがあるので注意。

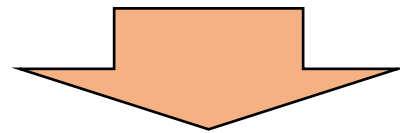


【事例④】刈払機で指を切り裂く（エンジンを止めなかった事故）

刃に絡まった葛のツルを取り除こうとして手をのばした瞬間、右手がスロットに触れ、エンジンが全開状態となり、指を切り裂いた。

エンジンを切らずに絡まった草を取り除こうとして、指を切断した事例は多い。

草を取り除いた瞬間、負荷がなくなるので、エンジン回転を下げているにも急に再回転する。



「ちょっとだから大丈夫」と思わず、エンジンを確実に止めてから、草を取り除くこと。



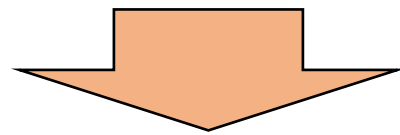
人差し指の爪先から根元まで切り裂いた



【事例⑤】 番線が飛んで足に刺さる（作業環境の未確認による事故）

農協倉庫の裏側の草刈り中、捨ててあった番線が飛び、安全靴の甲の部分に突き刺さり、足の裏まで突き抜けた。

この場所は、国道の近くで、いろいろなものが不法投棄されていた。



草丈が低ければ、作業中に発見できるが、草丈が伸び「草むら」になると、様々なものが隠れてしまうため、事前に作業環境を確認すること。



安全靴を履いていたが、番線が足の甲を突き抜けた

農作業安全に関する動画・資料

■ 「農作業中の熱中症を防ぐ」

内容：熱中症の原因、対策の紹介（10分9秒）



一般社団法人
日本農業機械化協会

■ 「【VR】刈払機 刃との接触編」

内容：刈払機の使用上の注意点を
使用者目線の映像で学習（3分32秒）



J A 共済公式チャンネル

■ 「草刈機の安全ポイント 農作業安全動画」

内容：草刈機の使用におけるポイント（6分3秒）



TheKubotaChannel
（株式会社クボタ）

農作業安全の啓発資料



農林水産省ホームページ